

# 安全保障

我が国の安全保障については、昨年末の安保3文書を通じて、長く国民の間に蔓延していた「戦後意識」(※1)からの脱却を促しました。最大の眼目は、力によって一方的な現状変更を目論むロシア、中国、北朝鮮など「核保有国」による国際秩序への挑戦を未然に防ぐため、「確かな抑止力」の構築を急ぐことです。

そのためには、安易な増税に頼ることなく、剰余金などを活用するとともに、経済成長の果実を投じて抜本的な防衛力の強化とともに、宇宙分野やAI、ロボット、バイオテクノロジーなど軍民両用の技術革新を刺激する研究開発にも全力を挙げてまいります。

さらには、自由で開かれたインド太平洋の平和と繁栄を促進するため、確かな抑止力を背景に日本外交の地平を拡大し、日米同盟を中心として、英国、豪州、韓国、台湾などの同盟国やインドやインドネシア、ベトナムなどグローバルサウスの主要国との連携による国際安保協力体制を着実に構築してまいります。

我が国における少子化の危機は、深刻です。昨年の出生数はついに80万人を割り込みました。これは、国の予測より8年も早く想定を超える少子化のペースです。しかし、子どもが生まれにくいことを嘆く前に、私たちが最優先で取り組まねばならないのは、生まれた子どもをしっかり育て上げることです。

家庭の「子育て力」が低下しているなら、社会全体で支える仕組みづくりが急務です。その意味で、私が10年来提唱してきたネウボラ(※2)の早期導入により、少なくとも周産期から就学までの7年間は、子育て家庭を経済的不安や心理的負担から解放する包括的な「子ども家庭支援制度」を全国に整備せねばなりません。そうすれば、小中学校段階で表出する問題の大半を予防することができるはずです。

同時に、保育や幼児教育の現場をすべての子育て家庭に解放し(保護者の就労要件の撤廃)、児童手当や障害児支援を含むあらゆる子育て支援策に係る所得制限を撤廃します。

# 未来保障

※1 先の戦争に対する反省から防衛努力に過度の自制を強いる歪んだ反戦志向。  
 ※2 フィンランドを発祥とする、かかりつけの保健師が伴走する家族支援制度。

# 新たな挑戦

激動する内外情勢の下、国内政局も益々不安定化する中、新たに創設された衆議院東京30選挙区(府中市、多摩市、稲城市)での活動も日々活発化しております。

国会活動20年の節目を迎えた今年、改めて自問自答します。

政治は何のためにあるのか。

政治の責任は、国民の命と平和な暮らしを守ること。平和で豊かで誇りある国を、次の世代に引き継ぐこと。ゆえに私は、「外交・安全保障」と「子どもの未来保障」に全身全霊を捧げます。



東京30区は、府中市、多摩市、稲城市です。

TOKYO  30

## 長島昭久プロフィール

- 【現職】●自由民主党・衆議院議員7期目 ●東京30区(府中市・多摩市・稲城市)選挙区支部長 ●衆議院東日本大震災復興特別委員会委員長 ●安全保障委員会委員 ●自民党「児童の養護と子どもの未来を守る議員連盟」会長 ●「人権外交を超党派で考える議員連盟」会長 ●超党派「日華議員懇談会」副会長 ●日本の尊厳と国益を護る会台湾問題分科会座長 ●日本スケート連盟会長 ●東京都銃剣道連盟会長 ●東京都ディスクゴルフ協会名誉会長
- 【来歴】●昭和37年(1962年)2月17日生まれ、寅年 ●慶應義塾大学大学院修了(憲法学) ●米国ジョーンズ・ホプキンス大学(SAIS)で修士号取得 ●最高権威の米シンクタンク「外交問題評議会」研究員(日本人初) ●防衛大臣政務官、総理大臣補佐官(外交・安全保障担当)、防衛副大臣を歴任 ●慶應義塾大学法学部講師、中央大学大学院公共政策研究科客員教授
- 【家族他】●府中市在住 ●家族 妻と娘2人 ●趣味 スポーツ観戦(スケート・野球・大相撲など)、読書、水彩画 ●大好物 とんかつ ●苦手なもの ジェットコースター

長島昭久後援会事務所

自由民主党東京第三十選挙区支部  
 〒183-0022 東京都府中市宮西町4-12-11 モア府中2F TEL:042-319-2118 FAX:042-319-2119

【E-mail】info@nagashima21.net

ポスター掲示にご協力ください!



ご自宅の塀、お持ちの駐車場、空地、農地などに掲示させていただきます。ただけませんか?

ご協力いただける方は事務所までご一報ください!

情報配信中

LINE@ 長島昭久公式LINE

ホームページ

最新の活動をお知らせします! 後援会にもご入会下さい

東京30区 衆議院議員 自由民主党

長島昭久

ながしまあきひこ